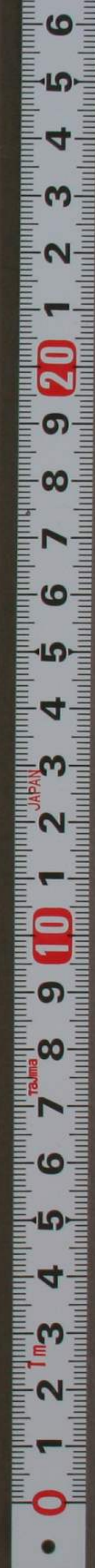


ウルエス弘方心得書

洋学文庫
文庫8
C 460





澹曰桃李不言下自成蹊宜矣我字留由頃
 之妙且奇天下莫有不仰瞻其效驗如桴鼓
 相應者也雖然其服餌將息之際施與之人
 不能丁寧反覆盡其曉解則隋珠暗投豈得
 有奏其效驗哉字留由頃亦可以祈寬故別
 為副本用國字而唯嚮導曉解如坦々大路
 如昭々日星偏庶幾得所其宜耳四方我同
 志諸君請諒此意幸々

健壽堂主人識



- ① 能書の次身得の事 ⑦ 持病の志得の事
- ② 功能病の心得の事 ⑧ 変病の類得の事
- ③ 大便の心得の事 ⑨ 業業切し得の事
- ④ 業用不心得の事 ⑩ 似業業廢業心得の事
- ⑤ 由座の得の事 ⑪ 心しに得の事
- ⑥ 痰飲の志急場心得の事 ⑫ 業強り方心得の事

① 能書の次身入薄の事

一ウルクス能書上包ハ功能の次身中包ハ用い

括の次身内包ハ心包の次身けハ殺妻

よ〜〜の上相用いハ時ハき〜人何程の緒

茶緘冬等々〜と書〜来〜難症と

い〜も〜功能建〜〜の眼がんげんおお〜

鬼角〜〜〜賣茶同様よお〜能書

の通〜〜利〜〜〜〜

時又今時の人ハ〜〜〜〜長文の

能書ハ〜〜〜〜〜

讀〜〜〜〜〜

り〜〜〜〜〜

お成るる能く三枚も集くよき丸の上
相用いしやうは失念うくやうと下は猶又
中家の換も能書^{おのこし}趣^{おのこし}はるもはやく下
ふ^{ぶつ}し^し用いし粘糸くは括^{くわく}固^こく下^下

◎功能病ゆゑむせのり

一 けウルス能^{のり}ま^まの^{のり}分^{ぶん}を^を通^{とお}り^りお用^{よう}は^は海^{かい}の^{のり}ま^ま
三^{さん}時^じ程^{じやう}の^{のり}ち^ちふ^ふ病^{びやう}ゆ^ゆゝ^ゝ大^{だい}小^{せう}便^{べん}お^おる^るは^は川^{がわ}も^も
掃^{はき}ふ^ふ根^ね深^{ふか}く^く。さ^さら^らふ^ふさ^さら^らり^り極^{ごく}く^く志^し好^{こう}き^き
忘^{わす}れ^れり^り是^{これ}を^をか^かの^{のり}業^{ごう}力^{りき}ふ^ふて^ては^はお^おま^まら^らら^ら
念^{ねん}い^いゆ^ゆゝ^ゝも^もさ^さら^ら初^{はつ}の^{のり}ち^ちふ^ふ別^{べつ}腹^{はら}を^を通^{とお}り^りお^お塘^{たう}
一^{いっ}夜^やよ^よ十^{じゅう}粒^{りやく}又^{また}小^{せう}色^{しき}一^{いっ}披^ひづ^づも^もお^お用^{よう}は^は海^{かい}の^{のり}ま^ま
病^{びやう}の^{のり}ゆ^ゆゝ^ゝも^もさ^さら^ら大^{だい}便^{べん}さ^さら^ら小^{せう}便^{べん}を^を通^{とお}り^りお^お塘^{たう}

百の但一よはん二便よはんも酸鼻さんびの母ははのうらうら又

そ病びやううとく解げの又大便だいべんもお志しすりむ

薬いんざうと本後ほんごとお用ようしし交まじ大便だいべんのしと

病びやうと大便だいべんよ去行きゆかう右功みぎこう能のう明めいくくも事こと

更さらに山やまたりり一いっ年ねんの然しかるよけウルうる工こうスす功こう能のう未まだ

又またすいすいぬ人ひと初はつにお用ようしし折角せつかく病びやうゆるみ

大便だいべんしりし時とき却かえる病びやうのゆゆも小遣せうせんい吐はの

るる一いっ薬いやくめやうやうおおひ既いに全ぜん便べんも越こえ

薬いやく用ようお止とむ人ひともらあるあり一いっ毛けの夫つまふん

通とほして山やまの右みぎふやぶぶく病びやうのゆゆも

大便だいべんくくいいども病びやうををけけよ志しすりむ

氣きははいい胸むね板いたををけけいい付つ食物じよくぶつ大だいよ

相^あと^んこ^ん身^{しん}體^{たい}のよ^よう^うに^に利^り方^{ほう}一^い切^{せつ}と^とま^ます^すれ^れく

自^じ然^{ぜん}と^と健^{けん}ち^ちき^きの^のり^りあ^あゆ^ゆり^りあ^あら^らず^ずに^に然^{ぜん}不^ふ

未^いだ^だと^と言^いえ^えざ^ざ人^{にん}は^はけ^け伏^{ふく}谷^こ存^{ぞん}や^やと^とい^いは^はれ^れに^に付^つ

有^ある^る後^ご妻^{さい}と^と中^{ちゆう}傳^{でん}り^り下^げよ^よと^とい^いは^はれ^れ人^{にん}老^{らう}病^{びやう}小^{せう}兒^に

凶^あ素^んの^のり^りを^を以^いて^て左^さを^を右^{みぎ}と^とす^すべ^べし^し

一^い疾^{ぢやく}積^{ぢやく}留^{りゆう}飲^{いん}の^のり^りを^を以^いて^て魚^{ぎょ}毒^{どく}を^をと^とり^りて^て使^しは^はり

と^とい^いは^はれ^れ口^{くち}中^{ちゆう}に^にた^たま^まわ^わる^る病^{びやう}と^と身^{しん}體^{たい}の^のり^りを^を以^いて^て

時^じに^にぞ^ぞん^んく^く深^{ふか}く^く沈^{しん}む^む入^い積^{ぢやく}り^りく^くと^と一^い夜^{いちや}不^ふ殺^{せつ}一^い

出^いた^たる^るよ^よ及^{およ}ぶ^ぶ事^じに^にま^まあ^あら^らず^ずに^に作^{さく}る^る滞^{たい}の^の病^{びやう}は^は

兼^あ力^{りき}と^との^のり^りを^を以^いて^て大^{だい}小^{せう}便^{べん}に^にた^たま^まわ^わる^るに^によ^より^りて^て全^{ぜん}く^く

根^{こん}元^{げん}の^のり^りを^を以^いて^て復^{ふく}た^たる^るに^によ^より^りて^て滞^{たい}の^の病^{びやう}に^に

兼^あ用^{りよう}も^もお^おろ^ろし^し又^{また}兼^あ用^{りよう}と^とい^いは^はれ^れ時^じに^に惡^{あく}毒^{どく}

患^そ此^こは^はより^は腫^は病^びと^しけ^り諸^{しよ}病^びも^も変^へじ^るる^も也^{なり}
志^しあ^らし^きに^は此^こウ^ルエ^ス阿^あ蘭^{らん}陀^た國^{こく}一^{いつ}大^{だい}奇^き方^{ほう}集^{しふ}
カ^かも^もく^くも^も病^びの^の根^{こん}え^えより^{より}道^{だう}に^にま^まを^を輕^{けい}と^と重^{じゆう}
き^きれ^れ名^な別^{べつ}なく^{なく}建^{けん}よ^よ中^{ちゆう}後^ごいた^{いた}ま^まる^る世^せ界^{かい}の
皆^{みな}も^も此^こウ^ルエ^ス知^ち無^むく^く下^げの^の

④ 兼用不^ふ以^い症^{しやう}公^{こう}得^{とく}の^のり

一^{いつ}種^{しゆ}と^と重^{じゆう}と^とふ^ふも^もく^くく^くに^にウ^ウル^ルエ^エス^ス打^{うち}角^{かく}お^お患^わ
心^{しん}を^をい^いへ^へぬ^ぬも^もあ^あ一^{いつ}區^くも^もほ^ほい^い兼^{けん}用^{りゆう}の^のり^りと^とふ^ふ
肉^{にく}も^もお^おや^やり^りぬ^ぬら^らた^たく^く水^{すい}乃^のの^の薄^{はく}さ^さの^の
た^たら^らざる^{ざる}と^とく^く又^{また}い^いせ^せよ^よ水^{すい}濁^{じやく}と^と事^じも^も病^びも^も
け^け理^りふ^ふし^しく^くけ^け不^ふ動^{どう}無^むと^と人^{にん}の^の身^み後^ごの^の耐^{たい}
此^こ果^{くわ}の^の症^{しやう}成^{じやう}り^りぬ^ぬと^と人^{にん}も^も毛^{もう}に^にく^くぐ^ぐや

又問あひこよいふくとはしらし治せざる病の難ん症しやうふらづら
少せう色しき二に扱あつかやは口くち入い扱あつかおも用ようい病ゆらし重時じ
けし薬やくもも利きやらぶはと氣きしうふ薬やく用ようおと免え
家け病びやう根ね源げんとと効くち毎まいいふとと學がく理りさしるる
薬やく用ようののととううざざうう時じのの効くち能のうりりととううざざららよよお
ああゆゆりりのの自じ然ぜんとと体ていのの難なん症しやうのの人ひとももああらら
ととししててははららとといいふふとといい

一何い業ごうもももも活くわかられるとと年ねん中ちゆう病びやう入いるる
とと苦くのの難なん症しやうけいウウルルエエススとと全ぜん使しははじじ
能のうるるととええいいやや多た年ねん持ぢ業ごうももおお用よういいととせせ
病びやうととおお疑ぎひひいい人ひとのの世せ間かんはは何なに程ほどううのの時じ
物ものもも未み用ようのの能のうととはは何なに程ほどのの時じににああららるる

⑤ 申された障りやらの事

一 尚書之類の類を讀んで胸後の氣味はく又熱身
の之をあらく一切能く上は兼くおきるはかぬ
さうりい臣の内よまはゆる眼筋ふくはれ胸後
是て申され別も酒春の今よ日本を奴の良業と
け事も能く書ふお記すは通けウルユスとお用ひ
時ハ酒も自然とまよるるを控授けられたる
我目ハ續々酒いへるも身体はせも
障りは却も健くして酒は程ふてもおさまみ
中は是等皆方なく出たりと申すは作の
おき何れの人も是れはと付兼く出はるる
申すは廣く名もふる事

① 瘧疾の症未用迄して滞り積まりいふて
 ちいざなるのけり病壯る時拘絞み満ちり
 今きむしく痛む難きるる良けウルス小也
 き扱も一度にお用いせむかきし以急場ま
 上下より吐瀉するものけり証的中いん
 けいづきお用いし積りて下い

⑦ 持病の症と得の変

一人の病の恙殊に瘧疾留飲症積気症
 等の持病はる人た人何程の良業を
 一旦全使いんせむ四季のかりむ
 せむふ感じ又いつ作のさる濕毒を又
 或はせむと骨一又お毒つそり是等

病の種又ハ持病ぢびやう生なまずらずしむしるし物もの後のちの
 元味もとあじあらじい持病ぢびやうよび出でたら招まねげんえふりたと
 けウルエス能書のうしよれ通とほ方かたを服くわ茶ぢやいんんん時とき一いち切き
 せせららりらしし水みづ流ながるる時とき法はふ一いち水みづ溜たまりるる時とき濁にごるる
 爰こゝととりりくく多おほ年ねん持ぢ茶ぢやよよ用もちるる人ひとを諸毒しよどく
 其時そのとき小樹せうじゆと大小便せうせんに淋しんふふととつつじじ一いち切き
 せせららりりたたしし胸腹ちゆうぶくののんん地ぢをを返かへすす一いち切き
 多おほ年ねん用もちゆゆ人ひとを多おほくく及およぶぶはは是こゝをを又また
 我病わがぢやうよよおお名ないいんんんん合あひひ茶ぢやと用もちいいんん茶ぢや
 減へ茶ぢやふふはは人ひとを全ぜんくくをを病ぢやうととるるををりり
 中ちゆうににははああはは信しん心しんををりり一いち切き茶ぢや持病ぢびやうのの症ぢやう
 右みぎのの種しゆああ細こまいい中ちゆうにに傳つたへへるるべべしし

④ 変病の類及びの事

一 醫書に曰く痰入痰入一皮と云ふ一夜と云ふは

百病少変ト惣身は福いと云ふる甚

爰と云ふ病の根えと云ふは元は痰

積留飲の三症と云ふは変病といふは

第一の功は疾と消一切の病と云ふは

悪毒をある人ふと云ふは血と云ふは

もる薬方百病を治との法なり

傳授の秘を書ふは毒くははれども是

皆能まふあるは時百病の薬と

おすえ却るは作らるお救ふは

あく書と云ふは

たんに中

かざらば却ち毒をさすなり病を根え
より道むさきり金使ひては薬のなる
不し少たひけ候也の事

⑨ 藥賣切しり得の事

一 藥賣切しり得の事
さきりおしはさくべし下候極ま廣し

清浄又少むすなり賣切しにて、弘め方
間接いしり得の事
中途より薬用お止め病の事
外の薬はお用いウルエスの氣をぬし
弘め方より大ふさなり且ウルエスの功能と
守備しり得の事

同様におもくしやうかきまゝに候へば
あつらひの候に候へば

① 引れらししはの事

一 引れらしし配り方の及ばぬ身も少なる者
申すも申す所の通りなり申すは
使に少く候へば候へば人よ申す候へば

了すに候へば方より子殺候へば武子殺も
そ合又六百枚も用事申すに申す
多く反古におもひ候へば候へば候へば
ウル工ス能く候へば候へば候へば
長入申すに申すに申すに申すに申す
引の方の事候へば候へば候へば

はくしんせいのんは種あぐりのやうな首(首)

業(業)日(日)様(様)あ(あ)り(り)し(し)身(身)も(も)今(今)

よ(よ)し(し)ら(ら)び(び)は(は)け(け)後(後)を(を)し(し)ね(ね)し(し)且(且)又(又)

同(同)業(業)津(津)み(み)紙(紙)を(を)能(能)き(き)し(し)き(き)び(び)と(と)お(お)り(り)

人(人)も(も)これ(これ)あ(あ)ぐ(ぐ)く(く)い(い)も(も)良(良)い(い)色(色)紙(紙)に(に)能(能)出(出)せ(せ)し(し)と(と)

中(中)業(業)列(列)後(後)に(に)し(し)し(し)と(と)業(業)も(も)そ(そ)入(入)る(る)

中(中)業(業)一(一)の(の)り(り)か(か)ら(ら)し(し)び(び)に(に)用(用)す(す)る(る)

一(一)念(念)の(の)あ(あ)ら(ら)て(て)し(し)ね(ね)し(し)と(と)業(業)に(に)し(し)り(り)

方(方)に(に)列(列)後(後)に(に)人(人)と(と)あ(あ)か(か)げ(げ)し(し)と(と)業(業)に(に)し(し)り(り)

一(一)回(回)に(に)あ(あ)ら(ら)せ(せ)し(し)と(と)業(業)に(に)し(し)り(り)

よ(よ)し(し)ら(ら)び(び)も(も)あ(あ)ら(ら)せ(せ)し(し)と(と)業(業)に(に)し(し)り(り)

中(中)上(上)の(の)海(海)に(に)あ(あ)ら(ら)せ(せ)し(し)と(と)業(業)に(に)し(し)り(り)

二三月の間にさきさき〜山打つてはるに

其徳入用から何程〜も由方より急度

お母さんおははの思石しおを山打つてさきさき

ら山打つてさきさき〜せとたひむ山打つ

の上から諸入用山打合いれあはせも子連おらんへはさ由

方ハ引れら〜の抽入仕はさきさき山打つ方

諸入用いさ山打より山打へ〜山打表立おひだり

ウルエス功徳各足へ仕せよ山打上もの山打子

山打活もおさきさき〜山打つてさきさき

一入山打より山打活いさてさきさき

一山打家板いさはさきさき〜山打つてさきさき

山打度いさもさきさき〜山打つてさきさき

ほんづよくは扱^{いろう}後^ごもも^も統^{ちゆう}支^し只^し看^{かん}板^{ばん}
 斗^{むらう}は^は並^{びやう}並^{びやう}米^{まい}の^の後^ごは^は格^{かく}列^{れつ}の^の山^{さん}負^{おん}者^{ぢや}も
 以^いた^たる^るく^くは^はて^て六^{ろく}た^たと^と人^{にん}何^{なに}種^{しゆ}の^の良^{りやう}米^{まい}た^たり^りも
 其^{その}功^{こう}能^{のう}委^い委^い友^{ゆう}友^{ゆう}と^と徳^{とく}人^{にん}好^{こう}知^ちや^やさ^さび^び打^{うち}角^{かく}
 引^ひれ^れら^らし^し居^ゐる^るも^も金^{かね}種^{しゆ}は^は方^{ほう}よ^よ入^い世^せ話^わも
 各^{おの}下^のは^はて^ては^は多^たく^くを^を量^{りやう}よ^よお^お成^{じやう}且^{かつ}賣^う米^{まい}と^と後^ごは
 人^{にん}之^{これ}類^{るい}い^いは^は付^つ功^{こう}能^{のう}の^の認^{にん}合^{がひ}と^とな^なる^る風^{ふう}
 種^{しゆ}も^も不^ふ下^げり^りて^ては^は只^し一^{いつ}通^{つう}り^りの^の賣^う米^{まい}よ^よ相^{あひ}
 又^{また}急^{きゆう}ふ^ふお^おし^しり^りや^やさ^さび^びい^い由^{ゆう}方^{ほう}よ^よ効^{きう}能^{のう}
 惟^{ただ}あ^ある^るん^ん也^やと^とり^りて^てを^を固^こも^も物^{ぶつ}入^いお
 ぶ^ぶけ^けづ^づ配^{はい}付^つく^くも^も皆^{みな}店^{てん}山^{さん}母^ぼ治^ぢり^りと^とら
 ざ^ざし^し時^{とき}は^は山^{さん}母^ぼよ^よ何^{なに}の^の事^{こと}治^ぢり^りも^も山^{さん}母^ぼ治^ぢり^りと^とら

諸國御取次店中様

大坂本店

肥後屋大藏門



江戸出店

肥後屋直店



京都出店

数帳屋久吉清



名古屋出店

長尾屋孫七



秋田取次所

瀧口清次郎



多々為る工不業社兼用い方能書通
 毛子細毎一書一内之と条法先方也
 以後之入委細之由物法より下之及又人結之
 用之出入運之由一書一内之及又人結之
 以中松山五中下之及又人結之

之 亦 甚 奇 異 且 甚 奇 異

其 亦 甚 奇 異 且 甚 奇 異

其 亦 甚 奇 異 且 甚 奇 異

其 亦 甚 奇 異 且 甚 奇 異

其 亦 甚 奇 異 且 甚 奇 異

